

(別添1)

台東区大河ドラマ館ホームページの構築に関する仕様詳細

本書は、「台東区大河ドラマ館ホームページ構築・保守業務仕様書」に基づく「台東区大河ドラマ館ホームページの構築」について示したものである

1 委託業務名

台東区大河ドラマ館ホームページ構築業務

2 委託業務期間

契約日から令和6年11月29日(金)まで

3 委託業務の内容

下記に基づき、台東区大河ドラマ館ホームページの構築を行うこと

(1) 運用環境について

ア ドメインについては下記のとおりとする

(ア) ドメイン名は、契約後、委託者と協議の上決定する。また、ドメインの取得は受託者において行うものとする。なおドメイン使用料は受託者側で負担する

(イ) 本委託契約終了後、第三者が当該ドメインを早期に取得する(ドロップキャッチ)ことがないようにドメイン管理は委託者へ引き継ぐものとする

イ サーバについては下記のとおりとする

(ア) VPSまたはクラウドサーバを提案の上、調達を行うこと。ただし、サーバは死活状況及びリソース状況等のシステム稼働状況を24時間365日で監視する仕組みが運用されており、異常を検知した場合は、迅速に復旧対応出来る体制が整えられているものとし、サーバが設置されるデータセンターは「(2)データセンター要件」をすべて満たすものとする

(イ) サーバのスペックはホームページの管理システムの動作要件を十分に満たし、機能が快適に動作する性能を有すること

(ウ) サーバのポートは必要最低限のものとする

(エ) 大河ドラマ放送開始時等のアクセスの集中に対応できるものとする

【参考】予想PV数：350万(令和6年10月下旬～令和8年1月)

(オ) サーバ事業者との契約は受託者が行うものとし、サーバの契約及び通信等の環境については、全て受託者の負担により整備・運用すること

ウ 暗号化(SSL/TLS1.2以上)に対応したものとする。暗号化に必要なサーバ証明書は受託者において取得・更新すること(かかる費用は、受託者負担とする)

エ ウェブアプリケーションファイアウォール(WAF)を導入すること

オ 個人情報を含むファイルをウェブサーバ公開領域に配置しない設計・実装・設定を行うこと

カ 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が定める「安全なウェブサイトの作り方」改

訂第7版の「ウェブアプリケーションのセキュリティ実装」で定める11種類の脆弱性について対策を行い、個人情報の漏えい、滅失または毀損を防ぐため及び本サイトの信頼性を高めるため、合理的なセキュリティ対策を講じること

キ SEO対策として、タイトル、メタディスクリプション、hl、altなど検索エンジンに最適化した文章や言語を設定すること

ク 必要に応じて機能・性能の拡張が可能であるように柔軟性を持った設計・開発方針とすること

(2) データセンター要件

データセンターのセキュリティ対策

ア 立地条件

日本国内かつ定期的に機器への情報セキュリティ対策状況を確認できる場所であること。また、必要に応じて、委託者の立ち入り検査も可能とすること

イ 耐震対策

建物は、現行建築基準法に規定する耐震基準を満たす建築物とし、適切な耐震・免震対策により震度7クラスの地震に耐える構造であること

ウ 防火措置

建物は、現行建築基準法に規定する耐火建築物であること。また、消火薬剤や消防用設備等は、機器等及び記録媒体への影響がないものを使用すること

エ 落雷対策

建物は、落雷などの過電流による被害を受けない対策がなされていること

オ 防水措置

建物は、水害の被害を受けないよう防水措置を施してあること。また、集中豪雨などによる出水の危険性の高い地域は避け、建物の開口部は地面より高く設置すること

カ 電源対策

停電等の場合においても機器への電源供給が絶たれないよう、無停電電源装置等を設置すること。停電時にシステムを運用するために、建物には24時間以上稼働可能な非常用自家発電設備を設置していること

キ 空調設備

サーバ等の機器を設置する場所には、機器による熱量等を考慮した空調設備が設置されていること

ク 入退室管理

建物は、関係者以外が立ち入れないよう、ICカード、指紋認証等により入退室管理し、侵入警報設備等を設け不正侵入を防止すること。入退室管理は、24時間365日実施していること

ケ 機器の設置

サーバ等の機器を収容するラックは、耐震性を考慮したものとし、容易に取り外せないよう適切に固定する等、必要な措置を講じなければならない

コ 冗長性の確保

代替機等を常備するなど、重大障害時（サーバ機能停止等）にもシステム停止がないよ

- う、冗長性を確保すること
- サ ネットワークのセキュリティ対策
 - 専用線、VPN接続等により伝送途上における情報の破壊、盗聴、改ざん、消去等を防止すること。また、ネットワーク機器の管理と監視を行うこと
- シ データバックアップと復旧
 - サーバのデータについては、日次でバックアップを取得し、緊急時には委託者と協議のうえ速やかに復旧できる状態とすること
- ス 認証
 - ISO/IEC27001認証、ISO/IEC27017認証を取得していること
- (3) ホームページの構成
 - 下記項目、コンテンツを含むホームページの構成を提案の上、委託者と協議し決定すること。コンテンツ・ページの仕分け、階層、掲載場所等は確定でなく、提案すること。また、下記に記載がないページ・コンテンツについても受託者が最適と考えるコンテンツがあれば提案すること
 - ア ホームページの名称
 - 名称は、「大河ドラマ館（名称未定）」に関連した名称で、「台東区」と「蔦屋重三郎」をPRすることができる名称とすることとし、委託者と協議の上決定すること
 - イ 大河ドラマ館について
 - (ア) 大河ドラマ館の概要、入場料金等基本情報
 - (イ) 前売券・年間パスポートなどのチケット情報（販売サイトの外部リンクを記載）
 - (ウ) 団体利用等の案内
 - (エ) アクセス
 - (オ) 館内マップ（委託者より提供）
 - ウ お知らせ・最新情報
 - エ SNS情報（アクセスを可能にすること）
 - オ 蔦屋重三郎について（人物像・略歴・相関図等 情報は委託者より提供）
 - カ 台東区の文化・観光情報（関連史跡や文化の紹介等）
 - キ イベント情報
 - ク 土産品紹介（掲載品は委託者にて選定）
 - ケ 協議会ロゴ利用案内
 - コ 関連ページ等リンクバナー
 - サ 各種ポリシー
 - シ お問い合わせ先
- (4) CMS機能
 - ア 特別な知識のない職員でも管理・運用のできるシステムを構築すること。
 - イ (3)「ホームページの構成」のウ「お知らせ・最新情報」やキ「イベント情報」など、逐次更新が発生しうるものについては、必ずCMS機能が使用できること。それ以外のコンテンツについては、受託者の提案とする
 - ウ 公開前にホームページの運用テストを実施すること

(5) ホームページの公開スケジュール

- ア トップページ等は令和6年10月下旬公開とし、各コンテンツは令和6年11月29日（金）までに公開すること（令和6年10月下旬に公開するトップページ等については、10月1日（火）正午までに制作すること。また、委託者が公開時期の変更を申し出た場合は、可能な限り対応すること。）
- イ 公開前の確認のため、令和6年10月7日（月）の正午までに制作すること。なお、令和6年10月18日（金）までを仮公開期間とし、同期間に委託者が修正を希望した場合は速やかに対応すること。なお、トップページの内容がコンテンツ内に移動になるなど階層の修正が起こる場合も想定しておくこと。また、順次公開となるページの仮公開環境と仮公開期間については、協議の上、決定するものとする

(6) デザインの基本要件

- ア 基本方針や仕様に沿った受託者が最適と考えるデザインを提案すること。適宜、委託者と協議を行いながら決定するものとし、最終決定は委託者が行う
- イ 台東区を代表する観光資源の写真やイラストを多用するなど、興味を引く、魅力的で洗練された美しいデザインであること
- ウ ユーザビリティ・アクセシビリティに配慮し、様々な立場の閲覧者が目的のコンテンツに容易にたどり着けるよう、掲載項目を整理・分類し、シンプルで分かりやすいデザインかつページ構成とすること。特定のブラウザやバージョンに可能な限り依存せず、スマートフォン、タブレット、PCなどの環境に可能な限り影響されない、レスポンシブデザインとすること
- エ 台東区が定める「ウェブアクセシビリティ方針（下記URL参照）」に従うこと
(<https://www.city.taito.lg.jp/aboutweb/webaccessibility/accessibility.html>)
- オ デザインに必要な画像等は委託者が提供する。ただし、委託者が所持していない画像・イラスト等が必要な場合は受託者が準備するものとする
- カ 閲覧者が掲載する画像等を保存しにくくする対策を施すこと
- キ 多言語での閲覧を実現するため、他自治体や他ウェブサイトにおける導入事例が多い翻訳機能の活用を提案すること。言語の指定については、少なくとも英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語に対応すること。その他の言語については双方協議の上、決定するものとする

[デザインに関する留意事項]

- ・本ホームページは、幅広い世代が閲覧することが想定されるため、視認性、操作性の高いものとなるよう配慮すること
- ・本ホームページ全体が統一感のあるものとなるよう、配慮すること

(7) テストに関する事項

ホームページの構築に伴うテストを行うときは、次の事項を遵守すること

- ア 受託者は、受託者が提案する開発手法に適したテスト体制、テスト環境、作業内容、作業スケジュール、テストシナリオ、合否判定基準等を記載したテスト計画書を作成し、委託者の承認を得ること
- イ テスト計画書に基づき、各テストの実施状況を委託者に報告すること

受託者は、この契約に係る電算処理施設、処理日程及び作業担当者を委託者に通知しなければならない

4 納品物

サーバへアップロードを行うとともに、以下の書類を提出すること

- ① 本ホームページのコンテンツを保存したCD-R等1枚
- ② サイト構成図、デザイン（構築時点）
- ③ サイト構築等の詳細設計書
ワイヤーフレームを含む、専用サイト全体のサイト構築に係る詳細な設計書を作成すること
- ④ 課題・障害管理表
- ⑤ プロジェクト計画書（体制図含む）
業務実施の作業項目、実施スケジュール、コミュニケーション方針、情報管理指針等を示すこと
- ⑥ 各種テスト計画書
システムの機能性、性能及び操作性等のテスト計画書を作成すること。また、実施後にテスト結果の報告も行うこと
- ⑦ 変更管理計画書、リリース管理計画書、展開管理計画書
- ⑧ 委託業務完了届
- ⑨ 議事録（定例会等）
- ⑩ 職員向けCMS運用マニュアル
職員がCMSを操作して、業務が行えるよう運用手順について説明した資料を作成すること

5 検収

履行後、4「納品物」に記載された納品物を提出し、発注者の確認をもって業務完了とする